

---

# 裸婦になれたら

金村 千奈

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

裸婦になれたら

### 【Nコード】

N2894I

### 【作者名】

金村 千奈

### 【あらすじ】

なんとなく、から始まる現実。

とある女子大生の現実視点から見る避難口。

授業が始まるときに鳴るチャイムの音がいつも気になる。

そう、長年聞いてきた音程とは多少どころではなく、かなり違うのである。

機械も音痴なやつはいるんだと、納得せざるを得ないが、心にと  
うも引つ掛かる。まるで、鍵を閉めたのに何回でも確認しに行きた  
いが時間に行き先へと背を押されているようだ。

歯痒い。もどかしい。

あたしにはどうしようもないことなのに、いつかの耳に定着した  
音程どうりのあの音が、メロディが、どうしようもなくあたしに訴  
えかけているようだ。

むずむずする心も体も、全て脱ぎ捨てて主張したい。

しかし、そんな衝動はお昼に行ったカフェで流れたジャズによっ  
て流された。なぜなら、決まらないながらもあたしの心を落ち着か  
せるその存在に絶対的なものを感じたからである。

チャイムが音痴だろうがあたしは生きていけるじゃないか。勝手に  
にしてくれ。

自分に諭されたあたしは学校に戻り、授業を受けた。午後の昼下がりは日差しが心地良いものである。

そして、夢をみた。

あたしは絵を描いていた。

真っ白な肌をした裸の女子を一生懸命描いている。

そして筆を取りながら、あたしもこんな風に誰かのモデルになりたい、なんて自己陶醉している。

チャイムの音で目が覚めた。

あたしの手にはシャープペンが握られていて、目の前には裸婦でなく、禿げた男性の後ろ姿があった。いや、女性だったかもしれない。

目の前にあるもの全て鞆に突っ込んで教場を出た。

全て。

全てをさらけ出せる体だったら、心だったら、文章だったら、あたしはもっと輝けるのに。

そんな昼下がりに。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2894i/>

---

裸婦になれたら

2010年10月12日06時33分発行